

- 🍏 オシャレなカフェが夕方から中高生のスペースに！
- 🍏 みんなで自習できる！
- 🍏 おしゃべりしながら軽食(無料)も食べられる！

とめ中高生自習スペース

す こ や か

「SUKOYAKA」

利用料：無料



OPEN

す こ や か

「とめ中高生自習スペース『SUKOYAKA』」は、中高生のための軽食付き自習スペースです。東日本大震災の影響をさまざまに受けている地域が復興していくために重要な力となる中高校生に対して、快適な放課後の環境を用意します。大日本住友製薬(株)をはじめとする多くの企業や団体等からの寄付を活用して運営します。

利用できる人 佐沼周辺の中高生 ※送迎はありません。
☆帰りは保護者の方の迎えを原則とします。
※仮設住宅、みなし仮設、賃貸住宅、自宅等、住まいの状況や被災の有無に関わらず、登米市内で生活している中高生は誰でも利用できます。

開設時間 月曜日から金曜日(祝日除く)16時から20時30分
(軽食提供)18時30分から20時

開設場所 登米市迫町佐沼字新大東 125 (合同庁舎裏)
とめ女性支援センターの建物を
夕方からお借りして開設します。

電話番号 080-9420-2588 (担当：高橋・菅原・高橋)



利 用 料 軽食・自習スペースともに無料

運 営 団 体 特定非営利活動法人こども福祉研究所

【事業実施期間】 2015(平成27)年3月31日までの2年3ヶ月

※事業実施期間終了時に、震災からの復興状況や子どもたちの利用状況等を参考にして、その後の実施や運営体制について総合的に検討します。

【保護者の皆様へ】

「とめ中高生自習スペース『^{すこやか}SUKOYAKA』」は、東日本大震災の影響によって登米市で生活している子どもたちと、登米市の子どもたちが一緒に勉強したり、おしゃべりしたり、のんびりしたりできる場所を作ることを目指して開設したスペースです。登米市の中高校生は誰でも利用できます。「ただいま」「おかえり」・・・やさしい声があふれるスペースにできるよう、子どもたちの安全・安心を最優先に、ひとりひとりの将来の自立に向けた支援を展開します。

この事業は、大日本住友製薬(株)からの寄付を受け、ほかの企業や団体からの寄付や協力も募りながら、こども福祉研究所の地元スタッフや大学生ボランティア等が協力して運営致します。

「こども福祉研究所」は、大学の研究者や児童福祉施設職員、自治体職員や市民が協力し、子どもがいきいきと成長できる社会づくりを目指し、2005年6月より活動しているNPOです。

2011年9月から岩手県山田町でも軽食付き学習スペース「山田町ゾンタハウス」を運営しています。

【理事長】東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 森田明美

【事務局】〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学白山校舎 2号館 608号室
森田明美研究室内

【電 話】03-3945-7481

【協力企業・団体等(順不同・2012年12月15日現在)】

大日本住友製薬(株)、コンテナおおあみ、とめ女性支援ネットワーク、(株)学研教育出版、山崎製パン(株)、連合三多摩、東洋大学、宮城学院女子大学、NPO キッズドア

【後援】 登米市

